

弘前市立病院・旧第一大成小学校跡地活用基本構想（素案） パブリックコメントの結果一覧

募集期間：令和3年7月1日～令和3年7月30日

応募件数：18件

15名、3団体の方から延べ25件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	検討	反映困難	その他	合計
件	件	18件	件	7件	25件

【文章修正等】・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

【記述済み】・・・既に記述済みのもの。

【検討】・・・計画の実施段階で検討または対応すべきもの。

【反映困難】・・・反映が困難なもの。

【その他】・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

※一部、提出した団体名が特定される意見がありますが、公表についてはそれぞれの団体の了承を得たうえで掲載しています。

提出された意見等の詳細及び回答

受付	応募方法	募集要件	意見	意見等	回答
1	アイデアポストへ投函	市内に住所を有する人 市内に事務所等を有する人または団体等 市内に勤務する人 本市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人	1	17～18 ページの市民等懇談会メンバー、専門家等協議メンバーに性別が掲載されていないので正確にわかりかねるが、すべて男性に思えます。 この推定が正しいと仮定した場合、弘前市は女性の方が男性：女性＝4.6：5.4 であるにもかかわらず、半分以上の市民の意見が反映されていないことになるように思えます。 加えて、「弘前市男女共同参画プラン 2018～2022」によれば、重点目標 1 として、「政策・方針決定過程への女性の参画拡大」を謳っていますが、矛盾していませんか？ 矛盾していないとした場合、なぜ矛盾していないのか、どのような形で女性の意見が本基本構想素案に反映されているのかを示していただきたい。	【その他】 ○「弘前市男女共同参画プラン 2018～2022」では、重点目標 1「政策・方針決定過程への女性の参画拡大」のための取組として「附属機関（審議会等）の設置及び運営に関し、女性委員の比率を 40%以上となるよう努め、女性の市政への参画を促進するとともに、協働による行政運営を推進します」と掲げております。 ○ご指摘の市民等懇談会と専門家等協議は、地方自治法に定める「附属機関」として設置したのではなく、また市民等懇談会に関しては、各関係団体として、団体内部で集約した意見を伺うことを目的に、メンバーの推薦を依頼した結果、男性のみとなったものですが、市の政策・方針に対する意見を聴く場として、女性の参画を検討すべきものであったと考えます。 ○今後も具体的な機能の設置や運営方法などについて、各種団体等の意見を伺う機会を設けることを予定しておりますので、その際は女性の参画について努めてまいります。

2	ファクス	市内に住所を有する人 本市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人	2	ドッグランを希望します。	<p>【検討】</p> <p>○旧第一大成小学校跡地は、「健康づくりのまちなか拠点」の外部空間として、日常的な運動や憩いの場、各種健康イベントなど様々な活動の場を創出したいと考えております。</p> <p>○多くの市民等による多様な活用が期待されるため、特定の分野の機能を常設することについては慎重に検討する必要がありますことから、いただいたご意見も参考にしながら、様々な取組を検討してまいります。</p>
3	持参	市内に住所を有する人 市内に勤務する人	3		
8	ファクス	市内に住所を有する人	4		
13	Eメール	市内に住所を有する人 市内に事務所等を有する人または団体等 市内に勤務する人	5		

4	郵送	<p>市内に住所を有する人</p> <p>市内に勤務する人</p> <p>本市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人</p>	<p>6</p> <p>《小学校跡地において、犬も散歩できるように開放してほしい》</p> <p>P. 11 の「旧第一大成小学校跡地の活用について</p> <p>ふん尿はさせない、したとしてもマナーを守る、ムダ吠え、トラブルなどで他の方々に迷惑をかけることを条件に、開放していただきたいです。私達愛犬家にとって、ペットは大事な愛すべき家族です。動物とすることで、たくさんの幸せと喜びがあります。しかし弘前市は、ペット立入禁止の公園が多いです。公園は、誰もが楽しく遊び、幸せな時間を過ごせる場所ではないのですか？</p> <p>ペットと一緒にというだけで、排除されることは悲しいです。</p> <p>しかしながら、苦手な方々がいるのも承知ですし、マナーを守らない飼い主がいるのも事実として重く受け止めています。</p> <p>飼い主に対する自覚を持たせ、行動変容につなげるのも大切だと思うので、もし開放されるのであれば、私達愛犬家がアイデアを出し合い、精一杯実現に向けてお手伝いさせていただきます。</p> <p>ご検討よろしくお願い致します。</p> <p>※県外にお住いの愛犬家達も、弘前市に来やすくなり、きっともっと好きになると思います。</p>	<p>【検討】</p> <p>○旧第一大成小学校跡地は「健康づくりのまちなか拠点」の外部空間としての活用を検討しておりますが、ペットとの散歩は心身のリラックス効果が期待できるなど、市民の「健康寿命の延伸」に取り組むという整備の方針につながるものと考えられます。</p> <p>○一方、糞の放置などマナーを守らない方もいることから、市の公園でも一部を除きペットの立ち入りを禁止としているところであり、今後、旧第一大成小学校跡地の具体的な管理運営方法等を整理していく中で、日常的にペットの立ち入りを可能とするか検討してまいります。</p>
---	----	---	--	---

13	Eメール	<p>市内に住所を有する人</p> <p>市内に事務所等を有する人または団体等</p> <p>市内に勤務する人</p>	<p>7</p> <p>私たち WonUp tsugaru は2016年5月にペットと暮らす人、ペット事業に携わる人、ペットが苦手な人すべての人が共存し、ワンランク上の生活環境を考える団体です。</p> <p>また、2016年より1%システムを活用させていただき、岩木青少年スポーツセンターにて「DOG FES IWAKI」、泉野地区でのマナーUPクリーン（ゴミ拾い）などを企画運営してマナー向上の啓発や地域コミュニティ形成のための活動を行っています。</p> <p>「旧第一大成小学校跡地の活用方針」について意見を提出させていただきます。</p> <p>弘前市の公園は基本的にどこもペット立ち入り禁止となっています。ペットと散歩ができる公園として多くの公園が解放されていますが、現実には公園の解放ではなく「通り抜けできる」が正確な表現となります。ペット立ち入り禁止の処置には、糞尿をはじめとするマナー問題が要因となっていますが、「行き場のない愛犬家が多く存在する」という事実もあります。</p> <p>欧米では、どんな子どもでも遊べるユニバーサルデザインの視点を取り入れた公園づくりが広がっています。</p> <p>日本でも「多様性」という言葉がよく聞かれるようになりましたが、「多様性」とは、さまざまな個性や価値観を排除せずに、「そこにいてもいいよ」「色んな人がいたほうがいい」とすることだと思っています。</p> <p>公園には、子供やお年寄り、食事をする人も、運動する人、愛犬家も愛犬もそこにいてもいいはずだと思っています。</p> <p>何かの枠組みに収まらない事や、少数派を排除するのは簡単ですが、だれもが住みよい街とは言い難いと思っています。</p> <p>青森県は自殺死亡率が高く、人口減少・自殺率の高さ・少子化など、この問題の根底にあるのは「生きづらさ」だと思っており、この町が程よい距離感で、多様性あふれる、住みよい街となってくれる事を切に願っております。</p>	<p>【検討】（意見7、8に対する回答）</p> <p>○旧第一大成小学校跡地は「健康づくりのまちなか拠点」の外部空間としての活用を検討しておりますが、ペットとの散歩は心身のリラックス効果が期待できるなど、市民の「健康寿命の延伸」に取り組むという整備の方針につながるものと考えられます。</p> <p>○一方、糞の放置などマナーを守らない方もいることから、市の公園でも一部を除きペットの立ち入りを禁止としているところであり、今後、旧第一大成小学校跡地の具体的な管理運営方法等を整理していく中で、日常的にペットの立ち入りを可能とするか検討してまいります。</p> <p>○当該地は多くの市民等による多様な活用が期待されるため、特定の分野の機能を常設することについては慎重に検討する必要があることから、いただいたご意見も参考にしながら、様々な取組を検討してまいります。</p>
----	------	---	--	--

			<p>公園のルールは多すぎると思います。住民からの苦情や要望の増加を背景に対応処置として禁止ルールの乱立が行われ、結果多様性が失われ誰もが使いづらい公園となってしまう。</p> <p>この問題は、日本全国で発生していて公園の問題にとどまらず、生きづらさの一つともいえると思います。</p> <p>私たちの今までの活動経験上、分断が取り出されている現代で、「子は鎧」ならず、「犬は鎧」となって、愛犬家は年齢、性別問わず、子供からお年寄りまで良いコミュニティ形成を行えることを実感しています。</p> <p>良いコミュニティは規制を必要とせず、不都合な個人を遠ざける効果もあると思っています。</p> <p>先ほど挙げた生きづらさの解消には、世代間交流の大切さが欠かせないと思っています。</p> <p>「弘前市立病院・旧第一大成小学校跡地活用基本構想（素案）」にある、基本的な考え方「多様な世代の交流機能」、「市民が集い学べる機能」などを集約し、相互に連携することで効果的な取組が図られる魅力的な空間を創出。</p> <p>P.8の「4つの方向性」の文中に記載されている、</p> <p>方向性1：弘前の風土を大切に市民の思いと賑わいが感じられるエリア</p> <p>方向性2：若者からお年寄りまで、世代を超えた多様な交流が生まれる仕組みづくり</p> <p>方向性3：広く市民意見の集約を行うとともに、関係機関、関係団体との意見交換を踏まえながら検討</p> <p>方向性4：施設の複合化や多目的化</p> <p>を踏まえて、「多目的広場（にぎわいエリア）」「憩いの広場（やすらぎエリア）」「利便機能施設」がうまく噛み合っていると考えます。</p>	
--	--	--	--	--

			<p>誰もが、自分に合った「すごし方」を選択できる、棲み分けを考慮した空間は工夫次第で実現できるものと思います。</p> <p>今までの弘前市の公園のイメージを一新するような、中心市街地だからこそ賑わいのあるランドマークとして市民に親しまれる公園になってもらいたいと思います。</p> <p>「ペットも家族」という考え方はすでに一般的な価値観として定着し、家族と楽しい毎日を過ごせることが素敵なライフスタイルの形であるのと同じように、可愛いペットも安心して暮らせる環境は、住み心地の良い町の大切な条件となっていて、さまざまな自治体で取り組みを始めています。</p>	
		8	<p>多目的広場にはランニングコース、運動スペース、健康イベント開催スペースのほかに家族連れが過ごせる「インクルーシブ・プレイグラウンド」の観点から「インクルーシブな遊具」の導入を検討してほしい。</p>	<p>【検討】</p> <p>○当該地は多くの市民等による多様な活用が期待されるため、特定の分野の機能を常設することについては慎重に検討する必要があることから、いただいたご意見も参考にしながら、様々な取組を検討してまいります。</p>
		9	<p>憩いの広場ベンチの設置の他に穏やかでゆったりとした時間を過ごせる緑や水場を設置してほしい。</p>	
		10	<p>「弘前市立病院の活用方針」について、多目的コミュニティスペースに関してはヒロロスクエアとの棲み分けがうまくできれば、ヒロロスクエアが活用されているように感じることから、有用性を感じます。</p>	<p>【その他】</p> <p>○閉院後の弘前市立病院の活用については、ヒロロスクエアと機能の棲み分けをしつつ、相乗効果が得られるように連携を図ってまいります。</p>
		11		

			12	<p>「市民等懇談会」への参加はかなわないのでしょうか？</p> <p>「市民等懇談会」が関係各所の限られた代表だけではなく、弘前に暮らす幅広い視点での市民参加も声として有っても良いというお考えがあれば今からでもぜひご検討下さい。</p> <p>「いろんな人がいた方がいい」といった事で私たちに出来る事があれば前向きにできる限り街づくりにご協力させていただきたいと思っております。</p>	<p>【その他】</p> <p>○これまでは、地元町会、商店街振興組合、公的な団体等、基本構想の素案を策定する時点で参考とすべき関係団体等の意見を伺い策定作業を進めてきました。</p> <p>○来年度からは、設計業務において具体的な機能を検討するにあたり、「健康づくりのまちなか拠点」として有効活用が図られるよう、実際に活用が想定される団体等の意見を伺う機会を設けることを予定しております。</p>
18	持参	<p>市内に住所を有する人</p> <p>本市に勤務する人</p> <p>本市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人</p>	13	<p>P.15「③旧第一大成小学校跡地の活用方針」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットの散歩が出来る遊歩道又は広場的な所 ・ドッグラン施設 ・マナー環境の為のウンチポスト設置 ・飼い主又は人のコミュニケーションが出来る憩いの広場 <p>弘前はペットの散歩やドッグランなどが出来る場所が一部しかない。公園などは規制が多すぎて散歩とは言えない。</p>	<p>【検討】</p> <p>○旧第一大成小学校跡地は「健康づくりのまちなか拠点」の外部空間としての活用を検討しておりますが、ペットとの散歩は心身のリラックス効果が期待できるなど、市民の「健康寿命の延伸」に取り組むという整備の方針につながるものと考えられます。</p> <p>○一方、糞の放置などマナーを守らない方もいることから、市の公園でも一部を除きペットの立ち入りを禁止としているところであり、今後、旧第一大成小学校跡地の具体的な管理運営方法等を整理していく中で、日常的にペットの立ち入りを可能とするか検討してまいります。</p> <p>○当該地は多くの市民等による多様な活用が期待されるため、特定の分野の機能を常設することについては慎重に検討する必要があることから、いただいたご意見も参考にしながら、様々な取組を検討してまいります。</p> <p>○また、「飼い主又は人のコミュニケーションが出来る憩いの広場」については、基本構想素案15ページの図に記載のとおり「憩いの広場」を設置する方向で検討しております。</p>

5	郵送	市内に住所を有する人 市内に勤務する人 本市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人	14	<p><弘前市立病院内に、ワクチン専門センターをつくってほしい。> P. 11の「活用について」</p> <p>人間は幼少期から高齢期まで、様々なワクチンを打っており、今後コロナワクチンも毎年のものになると予想されることから、専門に打つ場所をつくったらいかがでしょうか？ドクター、数名のナース、事務員だけで、充分運用できると思います。</p> <p>私は現在病院に勤務しており市民、その他国民のためにコロナワクチン接種のお手伝いをしています。多くの方が来院され、本来の通常業務よりも、ワクチン接種の手伝いを優先している状況であり、感染のリスクが高いのも事実です。毎日いろいろなリスクと戦い、患者さんを診ています。</p> <p>感染対策をしっかり行いながら、ワクチン専門センターをつくるというのは、どうでしょうか？</p> <p>かかりつけ医がいない市民もいるし、年中オープンしても十分に稼働できると思います。</p> <p>P. 8の市民サービスの向上にもつながると思います。</p>	<p>【その他】</p> <p>○新型コロナウイルスワクチン接種の体制構築にあたっては、弘前市医師会などの関係機関等との協議を踏まえ、ワクチン接種は医療機関での接種が望ましいとの考えのもと、進めることとしたものです。</p> <p>○このような体制としたことで、ワクチン接種に係るノウハウが蓄積されることから、今後、ワクチン接種が定期的接種となった場合であっても円滑に実施することが可能であり、今回の取組で得られたノウハウは有効と考えるものであります。</p> <p>○いただいたご意見については、今後のワクチン接種対策の参考にさせていただきます。</p>
---	----	--	----	--	--

6	Eメール	市内に住所を有する人	15	<p>基本構想素案 15 ページのイメージ図にあるようになるべく建設・維持費のかからない跡地の活用に賛成です。</p> <p>イベントに頼らなくても、若手事業者や起業家を応援する目的で、キッチンカーの乗り入れ・販売を認めたり、フリーマーケットのような市民参加型のイベントを定期的を開催したりすることで、SNS や口コミによって全国的に注目されるようになると思います。</p>	<p>【検討】</p> <p>○旧第一大成小学校跡地は、冬期間も含め「健康づくりのまちなか拠点」の外部空間として活用し、「健康寿命の延伸」と「中心市街地の活性化」が図られるよう、いただいたご意見も参考にしながら様々な取組を検討してまいります。</p>
			16	<p>冬季間の活用については、「中心市街地の排雪の一時仮置き場」として利用し、駅周辺から土手町地区の排雪を迅速にできるように活用できないものでしょうか。</p> <p>現在の岩木川河川敷や堀越の雪捨て場までは中心市街地から遠く、ダンプの輸送に多くの時間と台数が必要です。ここを排雪の一時仮置き場とすることで市内中心部の除排雪が迅速に行われ、公共交通機関はじめ市民の移動に大いにプラスになると思います。</p>	

7	Eメール	<p>市内に住所を有する人</p> <p>市内に勤務する人</p> <p>本市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人</p>	<p>健康づくりをメインテーマとした非常に将来性のある内容であると感じました。</p> <p>P. 15 「③旧第一大成小学校跡地の活用方針」</p> <p>まちづくりや賑わいづくりについてですが、これまでもヒロロや土手町コミュニティパークといった商業施設等で健康や病気、文化などをテーマにしたイベントや催し物が数多く開催されてきました。確かに平時に比べて集客や賑わいはあると思いますが、そこに集まる方々は当該イベント等に「興味のある」方々であって、興味のない方は来てくれません。この「興味のない」方々をいかにまちづくりや賑わいに引き込むかが重要であると考えます。</p> <p>そこで市民の皆さんが普段の生活の一部として利用でき、かつ健康づくりにも寄与する入浴施設（温泉やスーパー銭湯）を「憩いの広場」や「便利機能施設」へ作る事を提案します。市郊外には多くの温泉や入浴施設がありますが、市内中心地には公衆浴場施設が無く、車の無い方や免許返納者といった交通弱者の方は利用できないのが現状です。車を持たない高齢者や学生が気軽に利用できる中心地の入浴施設はニーズがあるように思います。バスで来て、多目的広場で汗を流し、風呂に入り、風呂上りにビアガーデンで飲んで、バスで帰る、などポストコロナを想定した中心地の新しい楽しみ方も模索できるのではないかと思います。普段イベント等には積極的に参加しない方でも、入浴での来訪を契機とした賑わい創出に参画するという「呼び水」的な仕組みが必要ではないかと考えます。</p>	<p>【検討】</p> <p>○いただいたご意見のように、他の自治体の中には健康なまちづくりとまちなかの活性化のため、中心市街地に「コミュニティ銭湯」を整備した例があるなど、地域によって様々な健康づくりの取組を進めているところです。</p> <p>○当市においても市民の「健康寿命の延伸」のため、既存の取組に加えどのような機能が必要であるか、いただいたご意見も参考にしながら様々な取組を検討してまいります。</p>
---	------	---	--	--

9	弘前図書館	市内に住所を有する人 市内の学校に在学する人	18	<p>P. 15 旧第一大成小学校跡地</p> <p>多目的広場にスケートボードのコース、室内・室外を問わずミラーのあるダンス専用スペースがあれば良い。</p> <p>運動スペースは室内・室外を問わず全ての世代のあらゆる方々（弘前市民に限らない）が自由に元気に身体を動かせるスペースになれば良い。</p>	<p>【検討】</p> <p>○旧第一大成小学校跡地は「健康づくりのまちなか拠点」の外部空間として、日常的な運動や憩いの場、各種健康イベントなど様々な活動の場を創出したいと考えております。</p> <p>○多くの市民等による多様な活用が期待されるため、特定の分野の機能を常設することについては慎重に検討する必要がありますことから、いただいたご意見も参考にしながら、様々な取組を検討してまいります。</p>
---	-------	---------------------------	----	--	---

10	アイデアポストへ投函	市内に住所を有する人	19	<p>P. 13～14 に関連して</p> <p>気軽に集える場所があればいいと思います。お金があまりかからなくて、女性が集まれる場所をつくってほしいです。サークル活動や話し合いの場がほしいです。以前参画センターは集まりやすい場でしたが、なくなってからは気軽に立ち寄れるところがなくて困っています。文化センターも2年間使えないのは困ります。</p>	<p>【その他】</p> <p>○「健康寿命の延伸」のためには、身体面の健康だけではなく、個々人が生きがいを感じ、安全安心で豊かな生活を送ることが必要と考えております。</p> <p>○そのため、当該地では「健康・医療・福祉」に資する機能のほか、「多様な世代の交流機能」「市民が集い学べる機能」を集約する方向で検討しております。</p> <p>○今後、多くの市民の方々が利用しやすい場となるような管理・運営方法を検討し、市民の「健康寿命の延伸」につなげてまいりたいと考えております。</p>
11	アイデアポストへ投函	市内に住所を有する人	20	<p>P. 11、4の(1)基本的な考え方について</p> <p>とても良くまとめられていると思います。特に「多様な世代の交流機能」「市民が集い学べる機能」などを集約するというまとめから、さくら大通りにあった旧市民参画センターの様子が思い返されました。学生が自由に出入りでき、一般市民も談話できるスペースが必要だと思うし、サークルや小集会（学習会など）に気軽に安く借りられる部屋がほしいです。</p> <p>P. 13(3)具体的な活用方針①とP. 14②の図を見ても、上記の私の要求は十分にとり入れられていることだと理解できました。</p>	
12	アイデアポストへ投函	市内に住所を有する人	21	<p>P. 13、P. 14 を見て、市の中心部にあることから、交通手段的にも便利な場所なので、ぜひ市民が気軽に使える様にして欲しい。サークル活動や憩いの場所、コミュニケーションがとれる場を無料あるいは安い料金で貸し出ししてもらいたいです。</p>	

14	Eメール	市内に住所を有する人	<p>(P. 11 の基本的な考え方に対して)</p> <p>健康や医療系ベンチャーが入居可能なレンタルラボの整備を検討して欲しい。</p> <p>弘前市は、「住みたい街ランキング」で青森1位、東北でも5位である。しかし、街の活性化のためには、若者や子育て世代に対しても住みたいと思われる街にする必要があり、そのような世代が定着するためにも新しい産業創出が重要である。</p> <p>そのためにはベンチャー企業やIT系企業などの創業や誘致が重要と考える。ひろさきビジネス支援センターやNext Commons Lab弘前など創業のための支援を行う組織はあるが、レンタルオフィス／ラボなどの施設的な支援が十分ではない。</p> <p>特に実験などが可能なレンタルラボについては、県も含めて存在しない。弘前大学にも健康や医療系も含めベンチャー起業のシーズや意欲のある研究者が増えてきているが、レンタルラボなどの施設がないため、起業するためには、首都圏や近畿圏など県外に目を向けざるを得ない。</p> <p>レンタルラボなどの整備は弘前大学を含め市内の大学にも存在しないが、一から整備するのは金銭的にも難しい。一方、病院であれば、水道や電源などの設備、分析機器や大型冷凍庫といった実験機器などの重量物の設置が可能であり、既存の建物を有効活用することができる。</p> <p>また、健康や医療関連、食品系ベンチャーと連携して、研究開発した成果の実証試験に協力することで、新産業の創出の場にもなる。地域住民も巻き込んだ実証試験の場を併設したベンチャー支援施設ができた場合、県外の大学発ベンチャーなどの誘致も可能。それらの企業とのコラボにより、地元企業の技術力向上にもつながることが期待できる。</p> <p>跡地活用については、新産業創出という視点を持って計画して頂きたい。</p>	<p>【検討】</p> <p>○当該地は都市機能が集積し公共交通の利便性も高く、企業などにとっても経済活動の場として魅力的な場所であり、特に当市においては大学・医療機関が集積していることから、これに関連した起業等も期待される場所とあります。</p> <p>○一方、幅広い年代の市民や多様な人々が訪れやすい場所でもあることから、地域の最重要課題である人口減少対策として、市民の「健康寿命の延伸」に取り組むことで大きな効果を得られると期待しております。</p> <p>○市民の「健康寿命の延伸」のため、いただいたご意見も参考にしながら様々な取組を検討してまいります。</p>
----	------	------------	--	--

15	郵送	市内に勤務する人	23	<p>○整備方針</p> <p>コンセプトとしての「基本的な考え方」は理解できるが、いきなり整備方針となるのはなぜか。民間事業者の参入意欲や活用の可能性を確認し、市が直接整備しなければいけないという結論に至ったのであれば、その過程を示す必要があるのではないかと考える。</p> <p>既存の市の施設を集約することが賑わいに繋がるのか。看護学校+若者が集うコンテンツがなければ、登下校するだけの場所になるため、そういう点について民間ノウハウを活用すべきと考える。</p> <p>活用イメージに「市民等が出入りしやすい空間」とあるが、公共施設の繋ぎ合わせである施設に、多様な人が出入りするためには、それなりのコンテンツが必要。繰り返しになるが、民間ノウハウを活用する、マーケティングを十分に行う、もしくは、その時折々のニーズに対応する自由度を持つなどのことをしなければ、簡単に賑わいは生まれません。</p> <p>旧第一大成小学校跡地の活用について、広場がダメだという訳ではないが、雪国で1年の1/3使用できないということについて、共通理解のうえでのイメージなのか。駐車場の面積も病院跡地の機能や周辺環境の需要に対し、どのくらいの台数を想定しているのか。除雪が必要な平面駐車場なのか。その点についても、駐車場を含めた収益施設を整備できる民間事業者の活用が必要なのではないかと考える。</p>	<p>【検討】</p> <p>○民間ノウハウの活用は有効な手段である一方で、他の自治体では官民連携事業により様々な課題を抱えているケースもあり、実施に当たっては事業の目的や地域性を考慮し慎重に検討する必要があると考えております。</p> <p>○閉院後の弘前市立病院の活用について、当初は、民間事業者の関与が大きい官民連携事業による整備等についても検討していましたが、「健康づくりのまちなか拠点」としての方向性を整理する中で、配置する機能の性格上等の理由から、市が直接整備する方向で検討を進めているところです。</p> <p>○なお、基本構想素案16ページの「(5) 財源及び整備・管理手法」に「官民連携等による効果的な運営・維持管理が期待できる手法を検討します。」と記載のとおり、各種イベント等の事業実施や施設管理に当たっては、民間事業者等との連携を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>○旧第一大成小学校跡地に整備予定の駐車場については、今後、当該地の詳細な利用者数の見込みと併せて台数を整理していくこととしており、駐車場の形式を含め、いただいたご意見も参考にしながら整備方法を検討してまいります。</p>
----	----	----------	----	---	--

16	ファクス	<p>市内に住所を有する人</p> <p>市内に事務所等を有する人または団体等</p> <p>市内に勤務する人</p> <p>本市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人</p>	24	<p>ヒロロスクエアは、「子育て」「健康」「交流」「行政」と様々な分野の行政施設であり、一か所で様々な用事が足りる、いわゆるワンストップサービスを提供できる市内随一の施設であると認識しております。</p> <p>親子三世代でお買い物にいらしたお客様は、おばあちゃんがトレーニング教室で汗を流しながら、お母さんとお子さんが子供の広場で遊ぶ、ついでに各種証明書をとることも出来ます。</p> <p>私どもが店舗で日々接する多くのお客様から、その使い勝手の良さや優れた利便性について満足のお話を多くいただいております。</p> <p>こうしたお客様の高い評価は、多様な機能が集積する複合商業施設の相乗効果の結果であり、これがヒロロ全体の魅力を高める大きな要因になっておりますし、ひいては駅前大町地域の活性化に貢献できているものと捉えています。</p> <p>基本構想素案を拝見しますと、ヒロロスクエアにある機能と同じ名称があります。端的にお尋ねいたしますが、これはヒロロからの移設を指すのでしょうか。先程申し上げたように、多様な機能の集約によりワンストップサービスを実現し、多くのお客様からご支持を得ている中で、現在の仕組みを変える必要性はないと考えます。</p> <p>ヒロロテナント会を構成する45店舗は、コロナ禍の厳しい経済情勢の中で必死に営業を続けています。こうした「頑張り」もヒロロが公共施設と連携した複合施設であるという「強み」があればこそです。</p> <p>市民の生活拠点として、また文化発信拠点として位置付けた、施設の当初からの基本コンセプトは維持継続すべきであり、機能の縮小は有ってはなりません。</p> <p>市の明確なご回答をお願いします。</p>	<p>【検討】（意見24、25に対する回答）</p> <p>○現在、全国的に人口減少が進み、このままでは将来的に経済規模の縮小や生活水準の低下、社会保障の負担増や制度維持など、社会経済の全般にわたり深刻な影響をもたらすことが強く懸念される状況にあるため、国を挙げて人口減少対策に取り組んでいるところです。</p> <p>○当市においても1995年をピークに人口減少が進んでおりますが、その特徴の一つとして平均寿命が全国と比べると短いことが上げられ、特に働き盛り世代の早世等による地域社会経済への影響が懸念されることから、その世代を含めた全世代の健康意識の向上が必要とされております。</p> <p>○また、人口減少が進む中、地域社会の持続的発展のためには地域コミュニティの維持や地域を担う人材育成などの必要性も増してきています。</p> <p>○こうした状況の下、市民が将来にわたり安心して快適に暮らすためには、身体面のみ健康だけではなく、個々人が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送ることができるように、子どもから高齢者まで全ての世代が健康で自立して暮らすことができる「健康寿命の延伸」に取り組む必要があります。</p> <p>○よって、都市機能が集積し公共交通の利便性も高く幅広い世代や多様な人々が訪れやすい弘前市立病院・旧第一大成小学校跡地を「健康づくりのまちなか拠点」として整備し、人口減少対策として「健康寿命の延伸」に取り組むこととし、食生活や運動習慣等による健康の維持、安心な暮らしのサポートなど「健康・医療・福祉」に資する機能を中心に、「多様な世代の交流機能」、「市民が集い学べる機能」などを集約し、相互に連携することで効果的な取組を図ってまいりたいと考えております。</p>
----	------	---	----	---	--

17	ファクス	<p>市内に事務所等を有する人または団体等</p> <p>本市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人</p>	<p>25</p> <p>P.12「基本的な考え方と整備の方針イメージ」 P.13「導入機能と相互連携のイメージ」 P.14「弘前市立病院活用イメージ」</p> <p>私たち「㈱マイタウンひろさき・特定非営利活動法人スポネット弘前・㈱東北データサービスグループ」は、2016年6月よりヒロロ内の市民文化交流館並びにこどもの広場内遊び場の管理運営業務を指定管理者として担ってまいりました。この間、各種文化団体やサークル活動、公共行事等に広く利用されているほか、年間40余りの指定事業や自主事業を展開し、弘前市内はもちろん広域市町村も含め多くのお客様にご来場いただいております。</p> <p>このような事業は3F「ヒロロスクエア」の設立趣旨である「子育て・健康・多世代交流」に沿ったものであり、指定管理を始めて5年余り経過し、市民の認知も高まり多くのご支持を得ているものと実感しております。</p> <p>今般、弘前市立病院の活用構想を拝見したところ、現在ヒロロスクエア内にある健康機能等と同種の施設整備案が掲げられておりました。ヒロロと弘前市立病院の距離などを考えると、このことはヒロロスクエアにおける同種機能の廃止（移転）を意味するものではないかと考えざるを得ませんが、当グループが指定管理者としてヒロロ内の市民文化交流館並びにこどもの広場内遊び場の管理運営業務を進める上で「子育て・健康・多世代交流」は密接に関連したものであり安易に見逃すことはできません。</p> <p>市民に対するワンストップサービスによる相乗効果を堅持しつつ、多様な市民文化の発信基地として更なる向上を図るためにもヒロロスクエアにおける「健康機能」の存続と機能強化を強く望むものであります。</p>	<p>○今後、「健康づくりのまちなか拠点」の詳細な機能等を整理する際に、地域の最重要課題である人口減少対策、「健康寿命の延伸」のための機能強化、土手町及び弘前駅前周辺の賑わい創出など総合的な視点で、関係団体等の意見も伺いながら、市民の利便性を第一に考え、当該地との相乗効果が得られるように、ヒロロスクエアの健康機能の方向性についても検討していくこととしております。</p>
----	------	---	---	--